

特集 古都の情緒を満喫する

めぐる
京都
の道

誰もが知っている祇園。
ある人には古き良き
日本の風情が残る伝統のまち、
またある人には歴史ロマン溢れるまち、
あるいはレトロモダンな宝庫かも知れない。
このまちには多くの人々の想いをつつみ込む
懐の深さがあるのです。

今回はそんな自己流祇園の
楽しみ方の一例をご紹介します。

祇園散歩

写真／溝縁ひろし



懐かしくて小粋な
祇園モダニズム。

日本の伝統に触れることも祇園の楽しみ方のひとつだけれど、ちょっと視線を変えるとクラシカルな風情の中にも粋でモダンな魅力が浮かび上がってくる。まずご紹介するのは四条川端に位置する南座。言わずと知れた歌舞伎発祥の地に建つ日本最古の劇場。建物は格調高い桃山風破風造りなのだけれど、その趣はどこか庶民的。師走は恒例の顔見世興行で役者の名前が書かれた「まねき」が並べられ、これまた何ともいい雰囲気。



写真提供／松竹

格式高い建物なのにどこか親しみやすい南座。(写真は平成16年度顔見世興行より)

舞妓さんはジャパニーズビューティの最先端。

しっとりとした雰囲気漂う新橋。



南座から少し上(かみ)へ歩くと京町屋のお茶屋さんが建ち並ぶ白川・新橋に。ここでのおすすめは風情あるまち並みを眺めるだけでなく「キョロキョロよそ見すること」。そうすれば名もない路地の佇まいやこのまちで生活する人たちの暮らしぶりなど、新たな魅力に出会える筈。また、この辺りには古道具屋さんなど昔ながらのお店が数多くあり、ウィンドウを覗くだけでも楽しくなってくる。

何十年も前から時間が止まっているようなお土産屋さんを見ながら祇園のメインストリート花見小路へ行くと、少し歩いただけで舞妓さんの姿がちらほら。お茶屋さんからは三味線の音が聞こえてくる。ここでも脇に目をやると懐かしい赤ポストや雑居ビルの看板など昭和の香りが漂ってくる。



小路の脇にも祇園情緒がいっぱい。

花見小路を歩けば舞妓さんに出会えるかも。



祇園の素晴らしいところはこれらの一見アンバランスな要素が見事に調和し、ひとつの情景をつくっているところ。

さあ、あなたもガイド本にはない自分だけの祇園を見つけて行きませんか。



歌人吉井勇「かにかくに」の碑。

建仁寺

双龍図

境内の真ん中にある法堂の天井を見上げると、躍動感溢れる龍の姿が飛び込んでくる。この大迫力の「双龍図」は平成十四年に創建八百年を記念して小泉淳作画伯によって描かれた天井画。横になってじっくり見入る人もチラホラ。



茶席 東陽坊

二畳台目の草庵茶室。豊臣秀吉の北野大茶会の副席として真如道東陽坊長盛が担当したと伝えられている。日本で初めて茶の実を持ち帰り、茶道の基礎を築いた栄西。カフェのルーツって案外ここかも?!



枯山水

大きな岩と白くてきれいな石で描かれた波模様は大海のようにも雲の上のようにも見える。多くの枯山水の庭園は厳しい印象を与えるが、建仁寺の枯山水はやわらかくて優しい。知らないうちに無心で眺めているから不思議。



建仁寺の庭園

安国寺から移築した方丈の前庭は、季節によって表情を変える味わい深い眺めが特徴。こぢんまりとした佇まいが何とも可憐で奥ゆかしい。お茶を頂きながらゆっくりくつろげるのも嬉しい。



風神雷神図

日本が生んだ世界のモダニスト俵屋宗達の代表作「風神雷神図」(国宝)。左右に別れて独特のポーズをとる風神と雷神をよく見ると、迫力があるというよりもユーモラスでかわいく、様々なところに宗達の遊び心が溢れている。

「見た事ある」の宝庫
四糸花見小路をブラブラ南へ歩くと現れるのが臨済宗建仁寺派の大本山であり、京都五山のひとつにも数えられる建仁寺。その歴史は古く、源頼家の保護を受けて日本禅宗の祖とされる栄西によって千二百二年に開かれた由緒あるお寺。当初は天台・真言・禅の三宗兼学だったが、第十一世蘭溪道隆の時代から禅寺に。
そんな小難しい歴史の話を知らなくても存分に楽しめるのがこのお寺の凄いところ。何しろ誰もが思わず「知ってる知ってる!」と叫んでしまうお宝がいっぱい。思わず息をのんでしまう大迫力の天井画「双龍図」や俵屋宗達の代表作「雷神風神図」、心和む枯山水の庭園など、どれもが主役級の見こたえ。

📍 京都市東山区大和大路四条下ル4丁目小松町584 📞 075-561-6363 🕒 10時～16時 💰 500円
🚗 あり(有料)・京都市鴨東駐車場より徒歩5分 🚶 京阪四条駅より徒歩7分、阪急河原町駅より徒歩10分

▼ロクロを使った本格的な教室。



陶芸教室ポルチェ

▼教室だけでなく、オンラインショップでプロの商品も販売している。



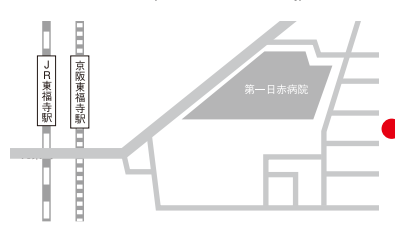
ここが
スゴい!
ロクロをまわせる!

京都・東山は泉涌寺のふもと、
清水焼窯元 平安陶花園で陶芸体験。

清水焼窯元の陶芸教室ポルチェは、清水焼の伝統技法を取り入れ、
経験のある人だけでなく、初心者にもオリジナル作品が作れる教室。
プロの指導による「ロクロ回し」が体験でき、出来上がった作品は7
色の釉薬から好みの色を選んでおけば、半月後に色鮮やかな作品が
できあがる。月2回のコースで、毎月6,300円(材料費、土代1kg1,050
円など別途)。入会金必要。入学随時。

体験コースは、手ひねり成形コース5,250円、絵付けコース3,150円～。
(各コース2名以上で要予約)

■開設日時:第1・3水曜日13時30分～15:30分 18時30分～20時30分 ■所要時間:
約2時間 ■定員:15名 ■費用:本文を参照。作品の完成は約1ヶ月程度。 作品郵
送は実費を負担。
■住所:京都市東山区泉涌寺東林町37 ■電話:075-561-8223
■FAX:075-533-0007 ■URL:http://www.h4.dion.ne.jp/toukaen



ここが
スゴい!
着付けの
バリエーションが豊富!



▲伝統ある京都西陣に建つ
西陣会館

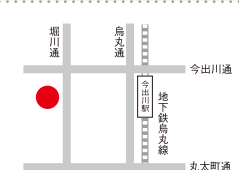
■開設日時:着付け体験(各コース)9:00～15:00 手織体験9:00～16:00
■所要時間:着付け教室:80分～120分(各コースによる) 手織体験:要
問い合わせ ■定員:1名～※要問い合わせ ■費用:着付け教室:
3,150円～ 手織体験:一般1,800円学生1,500円 ※15名以上で団
体割引あり
■住所:京都市上京区堀川通今出川南入 ■電話:075-432-6131
■FAX:075-414-1521 ■URL:http://www.nishijin.or.jp
■e-mail: info@nishijin.jp

▼伝統工芸の技をその手で体感。気分は職人!?



西陣織会館の手織りときもの体験

織物の町、京都西陣ならではの
楽しさが盛りだくさん。
休日をお優雅に過ごしたい人におすすめです。



見るだけではものたりない

京の伝統工芸体験特集

美味しいものを食べて、キレイな名所を見て...京都は楽しめるところがいっぱい!
でもそれだけじゃあ物足りない。そんな人におすすめなのが伝統工芸を体験できるスポット。
古くから日本各地の人々に愛されてきた京の伝統工芸をしかも自分だけのオリジナルで
作れたら...そんな人にピッタリのスポットを紹介。

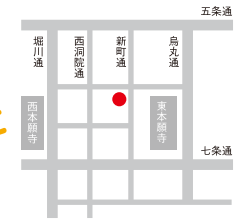
京都の技を職人の店で。
京の雅に触れてみませんか?

「京都が好き」「京都のいいものが欲しい」とい
う要望にこたえ、京職人仲間と連携して、親切
にリーズナブルに提供するためのお店を
2002年春に開設。修学旅行生や芸能人も
よく訪れる「箔押し体験コーナー」では金箔押
をお手軽に体験できる。金箔押とは金箔を漆塗
りの作品などに生漆を接合剤として貼付け、
表面を輝かせる昔から京で親しまれてきた伝統
工芸の一つ。そのコーナーでは、金箔をのせる工程
を体験しながらオリジナルの作品を作れます。
ご主人の気さくなおしゃべりや金箔をはりつけ
て自分だけのオリジナル作品をつくってみよう。



▲「おこしやす」の暖簾がお出迎え

■開設日時:月～土曜日(日祝はお休み) 午前の部は9時～9時30分ごろ開始。
午後の部は13時～14時ごろ開始 所要時間:2時間(2名様以上・要予約) ※人
数によって時間延長あり。 ■費用:2,000円(税込・作品1点製作) ※カッター
のご使用経験のない方はご遠慮ください。
■住所:京都市下京区新町通花屋町
下る長町852-1
■電話:075-371-1880
■FAX:075-371-1872
■e-mail: taiken@gomei.ne.jp
■URL:http://www.gomei.ne.jp/



ここが
スゴい!
本物の金箔に
触れられる!

▼ご主人による丁寧な指導。 ▼作品はその場で持ち帰りができる。



吉田木彫サロン

ここが
スゴい!

本格家具が作れる!
(コースによる)



▲完成した作品は展覧会で発表でき
ること。

◀工房の1階にあるサロンはアットホームな
雰囲気で行われ、とても和やか。



何代にも渡って愛される本格的な
木彫り作品を基礎から丁寧に学べる。
1957年に開講して約半世紀。作品
の材料買い付けから作品作りまでを本職
の木工作家が直接指導してくれる吉田木
芸。その教室はまるで伝統工芸の職人に
なった気分を味わえるサロン。木彫は自分
の生活空間を豪華にし、心豊かにするとい
われており、ま
さに石三鳥な
逸品。あなた
の身の回りや
お部屋を、心
を込めて彫つ
た木彫作品で
飾るのには挑戦
してはいかが?

■開設日時:火曜13時30分～、木曜9時30分～、13時30分～、
18時～ 金曜13時30分～、18時～の各クラスから選択 ※男性
は夜の部のみ可 ■所要時間:1回約2時間30分を14回受講
■定員:各クラス12名 ■費用:入会金10,500円(税込)講習料
29,400円(14回分税込み)
■住所:京都市下京区富小路通仏光寺上るの仏光寺東町121-5
■電話:075-351-7629 ■FAX:075-341-4622
■URL:http://www.2s.biglobe.ne.jp/~yoshidam
■e-mail: kyoji@mvc.biglobe.ne.jp



京扇堂のオリジナル扇子

古くから人々に愛された京の扇子。
おひとつ作ってみませんか。

京扇堂は富山魚津藩に仕えた武士が、東本願
寺に寺侍となりその後天保三年に開いたとされる
ユニークな経歴をもった老舗。伝統に培われた雅
やかな京扇子の美しさを、オリジナル扇子づくりで
楽しんでみよう。思い出の記念の品として、また洒
落たプレゼントとして、あなたの個性を思い切り表
現してみよう。絵付けした扇子は京の工匠の手で
丹念に仕上げられてから後日郵送されるので届くの
がとても楽しみ。



ここが
スゴい!
工場の目の前で
作品が作れる!

▶京の匠から教えるもらいながら
好きな柄をつけていく。

▼雅な京扇子が上品に飾られた店内



▲完成した扇子であおげば京の香りがたどいような
予感が...

■日時:平日9時、10時30分、13時、15時から。
日祝10時、13時、15時から。年末年始を除き無休。
■約90分実習と仕上げ工程の見学(平日のみ)
※作品は丹念に仕上げて約1ヶ月後に郵送。送料は
無料。 ※予約は6ヶ月まえより。 ■定員:1名～
50名 ■費用:2,200円(税込み) 製作に要する材
料や用具はこちらでご用意いたします。
■住所:京都市下京区東洞院通正面土上ル筒金町
46(東本願寺前東入) ■電話:075-371-4151
■FAX:075-371-4155
■e-mail: honsha@kyosendo.co.jp

